

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	市街化調整区域土地利用適正誘導事業	NO.	71
担当所属	都市計画課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	1. 都市計画・市街地形成	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 計画的なまちづくりの推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	市街化調整区域において、都市計画マスタープランに基づいた土地利用を図るため、「市街化調整区域における地区計画ガイドライン」を周知し、地区計画を活用したまちづくりを支援します。 袖ヶ浦駅西側地区や内陸部の土地利用について、地域の特性を活かしたまちづくりを目指します。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	都市計画マスタープランに基づいて計画される土地利用を実現するために策定した「市街化調整区域における地区計画ガイドライン」の周知を図り、自然環境と調和した秩序ある都市づくりを目指す。
対象 (誰・何を対象として)	市民、事業者
手段 (どのようなやり方で)	・ ホームページへの掲載等により地区計画ガイドラインの周知を図る。 ・ 地区計画の活用に興味・関心のある地域については、個別に勉強会等の開催を支援する。 ・ 「市街化調整区域における地区計画の案の作成に係る支援実施要綱」により協力事業者の選定支援を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市街化調整区域におけるスプロール化の防止、既存集落の活性化、広域的な交通利便性を活かした地域振興に寄与する産業・観光施設の立地など、計画的な規制誘導を図る。 内陸部の住宅地や集落地における既存コミュニティの維持や活性化を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	地区計画制度の周知・支援 個別勉強会の開催支援 袖ヶ浦駅西側地区まちづくりに向けた協議・調整	地区計画制度の周知・支援 個別勉強会の開催支援 袖ヶ浦駅西側地区まちづくりに向けた協議・調整	地区計画制度の周知・支援 個別勉強会の開催支援 袖ヶ浦駅西側地区まちづくりに向けた協議・調整

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 市街化調整区域における地区計画の策定件数(累計)	件	0 (R6)	1	1	2	2 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 地区計画制度の周知件数	回	2 (R6)	2	2	2	2 (R10)
	② 個別勉強会の開催支援件数	回	0 (R6)	1	1	1	1 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	0	12	12	12	36
一般財源	0	12	12	12	36
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	地籍調査事業	NO.	72
担当所属	土木管理課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	1. 都市計画・市街地形成	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 計画的なまちづくりの推進	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査と境界や面積に関する測量を行い、その結果を、公図に代わる精度の高い地図の作成や登記簿の修正に活用するもので、国土調査法に基づき実施します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	土地に関する記録である地籍の明確化を図る。
対象 (誰・何を対象として)	市内の土地及びその所有者
手段 (どのようなやり方で)	土地所有者等の立会いを実施することにより、境界等の確認を行い、境界点の測量や各筆の面積の測量等を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	一筆ごとの土地について、地籍（土地の所有者、地番、地目、境界、面積）を明らかにすることにより、土地境界をめぐるトラブルの未然防止や災害復旧の迅速化、公共事業の効率化・コスト縮減、公共物管理の適正化、課税の適正化・公平化に寄与する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	地籍調査実施（坂戸市場）	地籍調査実施（坂戸市場）	地籍調査実施（坂戸市場）

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 地籍調査実施面積	km ²	0.52 (R6)	0.5	0.8	0.8	0.8 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 地籍調査率	%	0.6 (R6)	0.6	1.0	1.0	1.0 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度 合計
事業費	20,054	21,515	20,875	21,344	63,734
一般財源	5,072	5,444	5,281	5,398	16,123
特定財源	14,982	16,071	15,594	15,946	47,611

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	市街化区域内狭あい道路整備事業	NO.	73
担当所属	都市計画課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	1. 都市計画・市街地形成	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 市街地整備の促進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	市街化区域内の生活環境の改善を図り、安全で良好な市街地形成を促進するために、市民に市街化区域内みちづくり計画要綱の制度や効果をPRし、理解と協力を得て、市街化区域内の狭あい道路の拡幅整備を目指します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市街化区域内の生活環境の改善を図り、安全で良好な市街地形成を促進する。
対象 (誰・何を対象として)	市街化区域内の道路又は市街化区域に接する道路のうち、幅員4m未満の市道及び市が管理する道路。
手段 (どのようなやり方で)	市民に市街化区域内みちづくり計画要綱の制度や効果をPRし、理解と協力を得て、市街化区域内の狭隘道路の拡幅整備を目指す。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	歩行者等の安全確保や緊急車両の往来が容易になるなど地域の生活環境が向上され、より安心安全で良好な市街地形成の促進を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	みちづくり計画要綱の周知・啓発 地元や消防との連携協議	みちづくり計画要綱の周知・啓発 地元や消防との連携協議	みちづくり計画要綱の周知・啓発 地元や消防との連携協議

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①							
	②							
	③							
活動指標	①	みちづくり計画要綱の周知回数	回	2 (R6)	2	2	2	2 (R10)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	景観まちづくり推進事業	NO.	74
担当所属	都市計画課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	1. 都市計画・市街地形成	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 良好な景観形成	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	景観計画及び条例の適切な運用により、市内の良好な景観の形成を推進するとともに、景観に関する意識啓発を図ります。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	自然や歴史・文化などの景観資源を活かし、市民が愛着と誇りを感じる、魅力あふれる袖ヶ浦の景観づくりを実現していく。
対象 (誰・何を対象として)	市民、事業者
手段 (どのようなやり方で)	景観計画及び条例の適切な運用により、良好な景観の形成を推進する。また、景観まちづくり賞等を活用して、意識啓発を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	都市景観の形成を計画的に推進するとともに、市民が誇りを持てる景観づくりを推進する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	景観計画の運用 景観まちづくり推進団体の活動支援 意識啓発 違反広告物除却活動	景観計画の運用 景観まちづくり推進団体の活動支援 意識啓発 違反広告物除却活動	景観計画の運用 景観まちづくり推進団体の活動支援 意識啓発 違反広告物除却活動

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 景観重要樹木の指定(累計)	本	6 (R6)	6	6	8	8 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 違反広告物除却活動数	回	11 (R6)	6	6	6	6 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	248	243	243	243	729
一般財源	0	0	0	0	0
特定財源	248	243	243	243	729

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	公園緑地管理事業	NO.	75
担当所属	都市整備課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	2. 公園・緑地	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 公園・緑地の整備・適正管理	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	利用者が快適に過ごせるよう、公園緑地の適正な維持管理を行います。
------	----------------------------------

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	公園緑地を良好な状態に維持管理し、これらの施設が持つ機能を有効に発揮させ、来園者等に憩いと安らぎの場を提供する。
対象 (誰・何を対象として)	市民及び市外からの観光客
手段 (どのようなやり方で)	指定管理制度を活用し、効果的で効率的な維持管理を推進する。また、指定管理者では補えない部分については、市で維持工事等を実施し対応していく。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	子どもから大人までだれもが安全で利用しやすい公園緑地が整備され、憩いや地域のイベントの場として利用されている。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	指定管理者による適正な維持管理の実施 公園施設・樹木の修繕計画の策定、老朽施設の補修・更新や樹木管理の実施 自治会等公園維持管理活動協力団体の募集	指定管理者による適正な維持管理の実施 公園施設・樹木の修繕計画の策定、老朽施設の補修・更新や樹木管理の実施 自治会等公園維持管理活動協力団体の募集	指定管理者による適正な維持管理の実施 老朽施設の補修・更新や樹木管理の実施 自治会等公園維持管理活動協力団体の募集

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 市内の公園が適切に管理されていると感じる	%	62.4 (R6)	63.5	64.0	64.5	64.5 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 老朽施設の改修件数	基	123 (R6)	136	139	142	142 (R10)
	② 公園維持管理活動協力団体募集回数	回	3 (R6)	3	3	3	3 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	225,312	245,919	256,063	269,224	771,206
一般財源	190,040	206,777	221,063	205,724	633,564
特定財源	35,272	39,142	35,000	63,500	137,642

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	都市公園交流機会創出事業	NO.	76
担当所属	都市整備課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	2. 公園・緑地	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 公園・緑地を活用した交流機会の創出	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	袖ヶ浦公園の花々や隣接する農畜産物直売所ゆりの里との回遊性、百目木公園の運動施設やプールなどの機能を活用し、市の主要交流拠点としての情報を発信することにより交流人口の拡大を図るとともに、周辺の地域活性化を図ります。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	公園の持つ様々な機能を向上させ、市内外へ積極的に情報発信することにより交流人口の拡大を図ります。
対象 (誰・何を対象として)	市民及び観光客等
手段 (どのようなやり方で)	袖ヶ浦公園や百目木公園の魅力の一つである花々について、桜の植栽を進める。百目木公園では、運動施設やプールなど特徴的な施設を有していることから積極的にPRを行う。また、指定管理者の自主事業として開催している袖ヶ浦公園や百目木公園まつりについても、指定管理者と共に企画内容の充実を目指します。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市内外からの利用者が増加し、賑わいのある公園となります。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	公園まつり等のPR活動 民間活力の活用 百目木公園を活用した地域活性化の調査・研究	公園まつり等のPR活動 民間活力の活用 百目木公園を活用した地域活性化の調査・研究	公園まつり等のPR活動 民間活力の活用 百目木公園を活用した地域活性化の調査・研究

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 袖ヶ浦公園、百目木公園まつり来場者	人	12,500 (R6)	13,750	14,000	14,250	14,250 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 袖ヶ浦公園、百目木公園まつり等PR回数	回	10 (R6)	10	10	10	10 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	三箇横田線建設事業	NO.	77
担当所属	土木建設課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	3. 道路・河川	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 都市計画道路および市道の整備	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	通学路の安全と交通利便性の向上を図るため、広域農道から県道長浦上総線を通り、市道代宿横田線間の交差点改良及び道路改良工事を実施します。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	横田地区の交通利便性の向上と安全な通学路を確保すること。併せて国道409号の横田市街地区の渋滞緩和と通行の安全に寄与することを目的とする。
対象 (誰・何を対象として)	平川中学校、中川小学校の生徒、児童や地域住民及び道路利用者
手段 (どのようなやり方で)	平成26年度から道路改良工事に着手し、令和7年度末には第Ⅰ期計画延長3,060mのうち2,117mの整備が完成している。今後は、残り区間において道路改良工事や代宿横田線交差点の整備を予定している。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	歩行者、通学者の安全性の確保及び地域住民の利便性を確保する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	交差点改良工事（三箇横田線・代宿横田線）	公共基準点設置委託 交差点改良工事（三箇横田線・代宿横田線）	道路改良工事（代宿横田線）

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 道路整備率	%	50.4 (R6)	69.2	85.5	89.2	89.2 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 道路整備延長	m	1,543 (R6)	2,117	2,617	2,730	2,730 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度 合計
事業費	34,004	105,411	106,690	37,000	249,101
一般財源	5,654	6,981	5,490	1,750	14,221
特定財源	28,350	98,430	101,200	35,250	234,880

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	西内河根場線建設事業	NO.	78
担当所属	土木建設課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	3. 道路・河川	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 都市計画道路および市道の整備	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	県が実施する都市計画道路西内河根場線は、袖ヶ浦駅海側地区と木更津市金田地区を結び、地域の連携や経済の活性化を目的としており、県と調整を図りながら整備に対して地元負担金を支出し早期完成を目指します。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	袖ヶ浦駅海側地区と木更津市金田地区を結び、地域の連携や経済の活性化を目的とする。
対象 (誰・何を対象として)	道路利用者
手段 (どのようなやり方で)	県への要望活動及び事業協力
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	安全で円滑な交通機能を確保し、健全な都市の発展に寄与する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	道路改良工事	道路改良工事	道路改良工事

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 事業進捗率	%	29.4 (R6)	91	99	100	100 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 県との打合せ回数	回	12 (R6)	12	12	12	12 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	110,102	112,262	37,736	5,774	155,772
一般財源	40,802	11,862	17,936	674	30,472
特定財源	69,300	100,400	19,800	5,100	125,300

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	西内河高須線建設事業	NO.	79
担当所属	土木建設課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	3. 道路・河川	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 都市計画道路および市道の整備	新規事業	○
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	地域の交通利便性の向上や経済の活性化を図るため、袖ヶ浦駅海側地区と都市計画道路南袖大野台線を結ぶ都市計画道路西内河高須線の事業化に向けた取組を行います。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	袖ヶ浦駅海側地区と都市計画道路南袖大野台線を結び、地域の交通利便性の向上や経済の活性化を目的とする。
対象 (誰・何を対象として)	道路利用者
手段 (どのようなやり方で)	都市計画道路の新規整備に向け、道路概略設計を行い、事業化に向けた取組を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	安全で円滑な交通機能を確保し、健全な都市の発展に寄与する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	整備手法の検討	道路概略設計委託	都市計画決定図書作成委託 公安委員会協議（道路協議）

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 事業周知人数	人	0 (R6)	0	40	40	40 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 事業内容の周知	回	0 (R6)	0	1	1	1 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	0	0	18,900	5,000	23,900
一般財源	0	0	18,900	5,000	23,900
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	飯富29号線・代宿横田線建設事業	NO.	80
担当所属	土木建設課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	3. 道路・河川	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 都市計画道路および市道の整備	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	通学路の安全と交通利便性の向上を図るため、飯富29号線及び代宿横田線の歩行帯整備工事を実施します。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	交通利便性の向上と児童生徒が安心して歩ける通学路を確保する。
対象 (誰・何を対象として)	根形小中学校の児童、生徒や地域住民及び道路利用者
手段 (どのようなやり方で)	浮戸川上流Ⅲ期地区のほ場整備に併せて、道路網整備計画で位置付けた道路の拡幅用地を非農用地として創設換地で確保し、計画的な道路整備を推進する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	歩行者、通学者の安全性の確保及び地域住民の利便性を確保する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	整備手法の検討	用地買収（土地開発公社） 道路概略設計委託	用地買収（土地開発公社買戻し） 路線測量委託 道路詳細設計委託 公安委員会協議（道路協議）

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	用地取得率	%	0 (R6)	0	0	19.0	19.0 (R10)
	②							
	③							
活動指標	①	用地取得面積	m ²	0 (R6)	0	0	760	760 (R10)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度 合計
事業費	0	0	17,440	45,040	62,480
一般財源	0	0	17,440	2,098	19,538
特定財源	0	0	0	42,942	42,942

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	交通安全・円滑化推進事業	NO.	81
担当所属	土木建設課	関連所属	土木管理課

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_3. 道路・河川	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 都市計画道路および市道の整備	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	地域住民の利便性の向上と歩行者や自転車の安全を確保するため、対策工事を実施します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	地域住民の利便性の向上と歩行者や自転車の安全確保のため、渋滞ポイントでの効率的かつ効果的な渋滞対策や「自転車ネットワーク路線」等の指定を受けた箇所について、警察と連携しながら対策を実施します。
対象 (誰・何を対象として)	通学路安全点検で対策が必要となった箇所 自転車ネットワーク路線に位置付けられた路線 臨海部における渋滞対策を必要とする箇所
手段 (どのようなやり方で)	交付金等を活用し、必要な箇所における安全対策等を実施する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	渋滞発生箇所や通学路等で危険と感ずる箇所の解消

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	自転車通行空間整備工事 渋滞対策の検討（中袖南袖線）	自転車通行空間整備工事 道路詳細設計委託（今井坂戸線） 渋滞対策の検討（中袖南袖線）	自転車通行空間整備工事 道路改良工事（今井坂戸線） 道路詳細設計委託（中袖南袖線）

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 自転車通行空間整備率	%	3.8 (R6)	8.6	11.6	13.9	13.9 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 自転車通行空間整備延長	km	1.63 (R6)	3.72	5.01	5.98	5.98 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	12,652	9,900	69,673	96,500	176,073
一般財源	1,652	9,900	10,113	4,900	24,913
特定財源	11,000	0	59,560	91,600	151,160

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	緑地・街路樹維持管理事業	NO.	82
担当所属	土木管理課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	3. 道路・河川	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 道路ストックの適正管理	新規事業	○
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	街路樹管理計画に基づき、街路樹の伐採・更新工事を実施します。
------	--------------------------------

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	大径木・老木化した街路樹等により、交通安全阻害や美観の低下、維持管理費の増加など様々な問題が生じていることから、街路樹の伐採・更新等を実施することで、持続可能な街路樹管理を図る。
対象 (誰・何を対象として)	街路樹 (R7参考値：高木2,986本、中木617本、低木16,030㎡)
手段 (どのようなやり方で)	起債や交付金の充当を検討し、街路樹の伐採・更新等を実施する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	街路樹がより良好に生育できる環境と安全で快適な道路空間の両立を確保し、持続可能な街路樹管理を図ることができるとしている。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	樹木伐採 維持管理	樹木伐採 維持管理	樹木伐採 維持管理

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	① 対策路線数	路線	0 (R6)	3	1	2	6 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	125,003	143,400	172,415	169,060	484,875
一般財源	125,003	120,600	132,065	137,960	390,625
特定財源	0	22,800	40,350	31,100	94,250

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	道路附属物修繕事業	NO.	83
担当所属	土木管理課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	3. 道路・河川	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 道路ストックの適正管理	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	道路附属物のうち、大型案内標識、排水設備（ポンプ）、大型カルバート、道路照明灯の予防保全型の維持管理を行います。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	個別施設計画に基づき、道路照明灯及び排水設備の更新工事を実施する。
対象 (誰・何を対象として)	<ul style="list-style-type: none"> 大型案内標識74基 道路排水ポンプ4箇所 大型カルバート2箇所 道路照明灯1229基
手段 (どのようなやり方で)	防災・安全交付金又は公共施設適正管理債を活用し財源を確保しつつ実施する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	点検に基づく個別施設計画により、効率的な維持管理を行うことで、ライフサイクルコストの縮減や安全な道路環境の維持を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	照明灯点検 照明灯更新 道路排水施設更新	照明灯点検 照明灯更新 道路排水施設更新	照明灯点検 照明灯更新 道路排水施設更新

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 道路照明灯更新率（LED化率）	%	58.7 (R6)	63.7	64.6	65.4	65.4 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 道路排水施設更新数	個	0 (R6)	6	7	9	9 (R10)
	② 道路照明灯更新数（LED化累計数）	基	721 (R6)	784	794	804	804 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度 合計
事業費	36,945	22,740	25,975	22,874	71,589
一般財源	14,045	5,540	6,075	5,874	17,489
特定財源	22,900	17,200	19,900	17,000	54,100

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	NO.	84
担当所属	土木建設課	関連所属	土木管理課

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	3. 道路・河川	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 道路ストックの適正管理	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	市道の橋梁について、計画的な点検と修繕により、長寿命化を図りつつ適正な維持管理を行います。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	市道橋全136橋及び歩道橋全3橋について、施設の長寿命化やライフサイクルコストの縮減を図る。
対象 (誰・何を対象として)	市道橋全136橋及び歩道橋全3橋
手段 (どのようなやり方で)	国庫補助金を活用し、定期点検及び必要な修繕や耐震化等の対策を実施することで事業の推進を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	橋の予防的な補修工事を実施することにより、橋梁の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減を図る、また、災害時における緊急輸送路としての機能を確保する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	定期点検委託 橋梁補修工事 橋梁補修設計委託 歩道橋方針検討	定期点検委託 橋梁補修工事 橋梁耐震補強補修設計委託 歩道橋方針関係者協議	定期点検委託 橋梁補修工事 橋梁耐震補強補修工事 橋梁耐震補強補修設計委託 歩道橋協議結果に基づく対応

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	長寿命化済の橋梁数 (累計)	橋	9 (R6)	11	12	14	14 (R10)
	②							
	③							
活動指標	①	橋梁定期点検数(市道)	橋	12 (R6)	30	35	38	103 (R10)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	222,487	32,950	105,800	430,200	568,950
一般財源	10,817	16,450	16,910	43,330	76,690
特定財源	211,670	16,500	88,890	386,870	492,260

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	国県道・自動車専用道路等整備促進事業	NO.	85
担当所属	土木建設課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_3. 道路・河川	会計区分	一般会計
	方向性	(3) 広域幹線道路等の整備促進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	広域幹線道路のネットワークを形成し、市内の交通利便性の更なる向上・地域の活性化を図るために（仮称）かずさインターチェンジや東京湾岸道路などの整備促進について国・県に要望します。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	広域幹線道路ネットワークを形成し、更なる交通利便性の向上と地域の活性化を図ることを目的とする。
対象 (誰・何を対象として)	市民・道路利用者（観光・物流）
手段 (どのようなやり方で)	国県道・自動車専用道路等の整備促進を国・県に要望する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	交通利便性の向上と地域の活性化が図られる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	(仮称) かずさインターチェンジ・東京湾岸道路等の各種要望活動、協議会活動	(仮称) かずさインターチェンジ・東京湾岸道路等の各種要望活動、協議会活動	(仮称) かずさインターチェンジ・東京湾岸道路等の各種要望活動、協議会活動

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①							
	②							
	③							
活動指標	①	要望活動回数	回	7 (R6)	7	7	7	7 (R10)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	504	518	548	548	1,614
一般財源	504	518	548	548	1,614
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	河川維持管理事業	NO.	86
担当所属	土木建設課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	3. 道路・河川	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 河川の適正管理	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	近年の気候変動により頻発化、激甚化する豪雨の被害を軽減させるため、河川を適正に維持管理するとともに、ため池の浚渫により雨水貯留機能を回復させ、河川への流出量を調整することで浸水被害の軽減を図ります。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	激甚化・頻発化している豪雨災害に備え、ため池の持つ貯水機能を回復させることにより、河川の氾濫や家屋の浸水等の被害を軽減させることを目的とする。
対象 (誰・何を対象として)	市民の生命や財産
手段 (どのようなやり方で)	土砂の堆積や水生植物の繁茂により貯水機能が低下しているため池の土砂撤去を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	ため池の貯水機能を回復させることで、大雨等の際においても、下流へ流出する水量を調整することにより、河川の氾濫や家屋の浸水被害の軽減効果が期待できる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	百々目堰浚渫実施設計委託 百々目堰浚渫に係る路線測量委託	百々目堰浚渫工事	百々目堰浚渫工事

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 浚渫対象ため池（百々目堰）の水面率	%	38.2 (R6)	38.2	38.2	90.0	90 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 河川パトロール回数	回	2 (R6)	2	2	2	2 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度 合計
事業費	17,710	30,556	217,986	227,865	476,407
一般財源	1,710	4,556	3,286	3,465	11,307
特定財源	16,000	26,000	214,700	224,400	465,100

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	水防事業	NO.	87
担当所属	土木建設課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和9年度
	施策	3. 道路・河川	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 河川の適正管理	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	市内河川へ危機管理型水位計及び河川監視カメラを設置し、WEB上で一般公開します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市内河川へ危機管理型水位計及び河川監視カメラを設置し、WEB上で一般公開することで迅速な避難行動を促すとともに、河川管理者、消防等による水防活動が円滑に行われ、豪雨災害等による人的被害の軽減を図る。
対象 (誰・何を対象として)	市民、河川管理者、消防
手段 (どのようなやり方で)	インターネットを活用し、河川の水位情報やカメラ画像を発信する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	河川の水位情報や現在の画像をWEB上で容易に確認できることから、市民等は迅速な避難行動をとることができ、また、河川管理者、消防等においても水防活動の円滑化が図られる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	危機管理型水位計・河川監視カメラの設置 国土交通省：川の防災情報を活用した河川情報のWEB公開	危機管理型水位計・河川監視カメラの設置 国土交通省：川の防災情報を活用した河川情報のWEB公開	

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 危機管理型水位計及び河川監視カメラ設置河川数	河川	3 (R6)	5	6		6 (R9)
	②						
	③						
活動指標	①						
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	4,501	4,702	6,710	0	11,412
一般財源	2,251	2,352	6,710	0	9,062
特定財源	2,250	2,350	0	0	2,350

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	海岸・護岸、水門施設維持管理事業	NO.	88
担当所属	土木管理課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	3. 道路・河川	会計区分	一般会計
	方向性	(5) 雨水排水施設や海岸・護岸施設の整備、適正管理	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	本市の管理する海岸・護岸施設及び水門施設について、適正な維持管理を行います。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	本市の管理する海岸・護岸、水門施設について、適正な維持管理を行うことで、津波や高潮等による災害を防止する。
対象 (誰・何を対象として)	海岸・護岸、水門施設
手段 (どのようなやり方で)	適正な点検により、施設の異常を的確に把握し、長寿命化や機能強化を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	適正な施設の状態を維持することにより、津波や高潮等の災害時に、市民の生命と財産を守る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	海岸・護岸施設の点検・調査 緊急時の水門施設操作体制の検討	海岸・護岸施設の点検・調査 緊急時の水門施設操作体制の検討	海岸・護岸施設の点検・調査 緊急時の水門施設操作体制の強化

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①							
	②							
	③							
活動指標	①	水門施設の点検	回	6 (R6)	6	6	6	6 (R10)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	4,375	5,411	4,514	4,514	14,439
一般財源	4,375	5,411	4,514	4,514	14,439
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	雨水下水道施設整備事業	NO.	89
担当所属	土木建設課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	3. 道路・河川	会計区分	一般会計
	方向性	(5) 雨水排水施設や海岸・護岸施設の整備、適正管理	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	奈良輪第一排水区のうち雨水下水道施設の未整備区域について、雨水下水道管渠の整備を行うとともに、奈良輪雨水ポンプ場のポンプを増設し、浸水被害の軽減を図ります。また、市民等へ浸水リスクを周知し、日頃から内水による浸水に備えていただくことを目的として、総合ハザードマップへ、内水浸水想定区域図を掲載します。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	下水道事業計画に基づき、市街化区域内の雨水排除を適正に行い、良好な住環境を図る。
対象 (誰・何を対象として)	雨水下水道事業計画区域内 奈良輪第一排水区
手段 (どのようなやり方で)	交付金等の特定財源を活用し、事業の推進を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	奈良輪第一排水区内において、内水浸水想定区域図から浸水が想定される区域の雨水下水道管渠を整備するとともに、奈良輪雨水ポンプ場のポンプを事業計画に基づき4台（現在は3台）整備することで、家屋等の浸水被害の軽減効果が期待できる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	奈良輪第一排水区整備に係る費用対効果分析委託	奈良輪第一排水区雨水幹線実施設計委託 奈良輪雨水ポンプ場ポンプ増設実施設計委託 総合ハザードマップの更新（内水浸水想定区域図の反映）	奈良輪第一排水区雨水幹線実施設計委託 奈良輪第一排水区雨水幹線整備工事 奈良輪雨水ポンプ場ポンプ増設工事

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 奈良輪第一排水区雨水下水道管渠整備率	%	0 (R6)	0	0	18.0	18 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 内水浸水想定区域の周知回数	回	0 (R6)	1	1	1	1 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度合計
事業費	28,603	7	62,230	324,898	387,135
一般財源	18,243	7	3,230	19,398	22,635
特定財源	10,360	0	59,000	305,500	364,500

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	雨水下水道施設長寿命化修繕事業	NO.	90
担当所属	土木建設課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	__3. 道路・河川	会計区分	一般会計
	方向性	(5) 雨水排水施設や海岸・護岸施設の整備、適正管理	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	雨水下水道施設について、ストックマネジメント計画に基づく点検・調査を実施し、適正な維持管理に努めるとともに、ポンプ場施設の改築・更新計画を策定し、長寿命化によるライフサイクルコスト縮減及び改築・更新に係る費用の平準化を図ります。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	雨水下水道施設について、ストックマネジメント計画に基づく点検・調査を実施し、各施設の改築・更新計画を策定することにより、施設の長寿命化によるライフサイクルコスト縮減及び改築・更新に係る費用の平準化を図る。
対象 (誰・何を対象として)	雨水下水道管渠 奈良輪雨水ポンプ場
手段 (どのようなやり方で)	交付金等の特定財源を活用し、事業の推進を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	雨水下水道管渠の定期的な点検や雨水ポンプ場の改築・更新計画を策定し、各施設の最適な更新時期を把握・実施することで施設の長寿命化によるライフサイクルコスト縮減及び改築・更新に係る費用の平準化が図られる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	奈良輪雨水ポンプ場施設点検調査・改築更新計画策定委託 雨水下水道管渠点検調査委託	雨水下水道管渠点検調査委託	雨水下水道管渠点検調査委託

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	雨水下水道管渠の点検調査率	%	3.3 (R6)	13.5	27.6	36.2	36.2 (R10)
	②							
	③							
活動指標	①	雨水下水道管渠の点検延長	km	2.43 (R6)	18.9	15.6	20.6	20.6 (R10)
	②	雨水下水道管渠の調査延長	km	0.19 (R6)	4.2	6.0	7.8	7.8 (R10)
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	31,877	26,898	4,240	3,844	34,982
一般財源	16,597	14,898	2,140	1,944	18,982
特定財源	15,280	12,000	2,100	1,900	16,000

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	下水道施設の適正管理	NO.	91
担当所属	下水道課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	4. 下水道	会計区分	下水道会計
	方向性	(1) 下水道施設の適正管理	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	公共用水域の良好な水質を確保することを目的に、千葉県が定めた東京湾流域別下水道整備総合計画、水質汚濁防止法等で規定される水質基準を守るため、処理施設を効率的かつ適正な維持管理を行います。また、ストックマネジメント計画（管路及びマンホール蓋、処理場）に基づき、既存ストックの長寿命化や維持管理コストの平準化を図るとともに、大規模地震等の災害時にも下水道機能や公衆衛生を確保するため、重要な汚水管の耐震化を推進します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	処理施設について適正な維持管理を行い、公共用水域の水質保全、生活環境の改善を図る。また、既存ストックの長寿命化を図り、施設の故障や事故を未然に防止するとともに大規模地震等の災害に備え、健全な下水道の機能確保と公衆衛生の維持を確保する。
対象 (誰・何を対象として)	公共下水道及び農業集落排水施設。
手段 (どのようなやり方で)	処理施設、中継ポンプ機場については、包括的維持管理委託を活用した効率的かつ適正な維持管理に努める。また、財源として交付金を活用し、ストックマネジメント計画（管路、マンホール蓋、処理場）や総合地震対策計画において、設備の保全を図るとともに、重要な汚水管の耐震化を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	包括的維持管理委託による民間企業のノウハウを生かした効率的かつ適正な維持管理を行い、公共用水域の水質保全に努める。既存ストックの長寿命化や維持管理コストの平準化を図るとともに、施設の設備の保全を図る。また、大規模災害時においても、最低限の処理機能を保持することにより、迅速な災害復旧と早期の生活基盤の復興を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	【公共下水道】 終末処理場等包括的維持管理 スtockマネジメント計画事業 総合地震対策計画事業 【農業集落排水】 袖ヶ浦東部浄化センター等包括的維持管理	【公共下水道】 終末処理場等包括的維持管理 スtockマネジメント計画事業 総合地震対策計画事業 【農業集落排水】 袖ヶ浦東部浄化センター等包括的維持管理	【公共下水道】 終末処理場等包括的維持管理 スtockマネジメント計画事業 次期ストックマネジメント計画策定委託 【農業集落排水】 袖ヶ浦東部浄化センター等包括的維持管理

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 公共下水道放流水質 (年平均COD)	mg/l	7.6 (R6)	12.0	12.0	12.0	12.0 (R10)
	② 農業集落排水放流水質 (年平均COD)	mg/l	5.4 (R6)	10.0	10.0	10.0	10.0 (R10)
	③ 主要管渠の耐震率	%	97.1 (R6)	97.8	100		100 (R9)
	④ マンホール蓋更新率	%	56.0 (R6)	72.0	86.0	100	100 (R10)
活動指標	① マンホール浮上防止対策等工事	箇所	33 (R6)	33	55		55 (R9)
	② マンホール蓋更新	箇所	28 (R6)	36	43	50	50 (R10)

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	579,393	477,146	988,425	928,557	2,394,128
一般財源	0	0	0	0	0
特定財源	579,393	477,146	988,425	928,557	2,394,128

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	下水道事業の経営基盤の強化	NO.	92
担当所属	下水道課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	4. 下水道	会計区分	下水道会計
	方向性	(2) 下水道事業の経営基盤の強化	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	生活環境向上及び公共用水域の水質保全のため、下水道事業を将来にわたり安定的、継続的に運営していくために、経営戦略を着実に推進し、経営基盤の強化を図ります。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	下水道事業を将来にわたり安定的、継続的に運営していくため、公営企業会計のもと「受益者負担の原則」「独立採算制の原則」に基づき、適正な料金設定とすること等により経営の健全化を図る。また、将来的な人口減少等に伴う使用料の減少、急速に整備した施設の老朽化による大量更新期到来に備えるため、経営戦略の推進と経営基盤の強化を図る。
対象 (誰・何を対象として)	下水道区域内の公共下水道、農業集落排水処理施設利用者及び下水道事業の運営
手段 (どのようなやり方で)	経営指標等の情報開示、適正な料金設定の検討
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	独立採算制の原則に基づき、一般会計からの基準外繰入金に依存しない安定した経営、受益者負担の原則に基づいた経営を行う。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	決算分析・財政指標等の公表 料金改定	決算分析・財政指標等の公表	次期経営戦略の検討 決算分析・財政指標等の公表 料金改定

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 経費回収率 (公共下水道事業)	%	90.2 (R6)	91.9	94.5	100	100 (R10)
	②						
	③						
活動指標	①						
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	空家等対策事業	NO.	93
担当所属	都市整備課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	5. 住宅	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 空家等対策の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	空家等対策計画に基づく空家等の適切な管理を推進します。 著しく管理が不適切な状態にある空家等に対し、改修や活用に関する助言・指導等を行うとともに空家バンク制度の活用を推進します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることに鑑み、空家等対策の推進に関する特別措置法及び袖ヶ浦市空家等対策の推進に関する条例に基づき、市民等の生命、身体及び財産を保護するとともに良好な生活環境の保全を図り、あわせて空家等の活用を促進する。
対象 (誰・何を対象として)	袖ヶ浦市内の空家等所有者 市内の空家等の利用希望者
手段 (どのようなやり方で)	空家等対策計画に基づく空家等の適切な管理の推進 空家バンク制度の活用 著しく管理が不適切な状態にある空家等の改修や活用に関する助言・指導等
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	管理が不適切な状態の解消による、環境、景観への影響の改善や防災性の向上 空家等の所有者等による適切な管理の意識の向上 空家等の発生による地域力の低下の防止

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	空家等対策計画に基づく運用 空家バンク制度の運用 他団体・民間を活用した空家等対策	空家等対策計画に基づく運用 空家バンク制度の運用 他団体・民間を活用した空家等対策	空家等対策計画に基づく運用 空家バンク制度の運用 他団体・民間を活用した空家等対策

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 空家バンク事前情報提供制度申込件数	件	6 (R6)	11	12	13	13 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 空家等対策啓発回数	回	6 (R6)	6	6	6	6 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	2,578	1,562	1,562	1,562	4,686
一般財源	1,578	562	562	562	1,686
特定財源	1,000	1,000	1,000	1,000	3,000

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	木造住宅耐震化等促進事業	NO.	94
担当所属	都市整備課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	5. 住宅	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 良質な住環境の確保	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	市内の木造住宅の耐震化を促進するため、耐震相談会等による普及・啓発活動を行い、耐震診断・改修工事費用に対する助成を実施します。また、瓦屋根について、強風時の飛散・脱落を防止するため、改修工事費用に対する助成を実施します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	想定される大規模地震の発生による建物の損壊・倒壊被害、またそれに伴う隣地及び周辺住民への二次的被害を抑制する。
対象 (誰・何を対象として)	【木造住宅耐震化】 市内において平成12年以前(旧耐震基準)に建築された戸建て木造住宅を所有し、かつ、居住している者。 【瓦屋根耐風化】 市内において令和3年12月31日以前に建築された戸建て住宅を所有し、かつ、居住している者。
手段 (どのようなやり方で)	耐震相談会を定期的に開催するほか、広報そでがうらへの掲載、公民館まつりでのブース設置等による事業PRを行う。改修工事等における費用の一部を助成する。更なる耐震化を促進していくため、併せて行うリフォーム工事について費用の一部を助成する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	大規模地震の発生による建物の損壊・倒壊の抑制及びそれに伴う人的被害の抑制を図り、災害に強い安全で安心なまちづくりに寄与する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	無料耐震相談会の実施 耐震診断助成 耐震改修補助 リフォーム補助 瓦屋根の耐風改修補助	無料耐震相談会の実施 耐震診断助成 耐震改修補助 リフォーム補助 瓦屋根の耐風改修補助	無料耐震相談会の実施 耐震診断助成 耐震改修補助 リフォーム補助 瓦屋根の耐風改修補助

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 耐震診断補助金交付件数	件	30 (R6)	16	16	16	16 (R10)
	② 耐震改修補助金交付件数	件	14 (R6)	10	10	10	10 (R10)
	③ 耐風改修補助件数	件	0 (R6)	7	7	7	7 (R10)
活動指標	① 無料耐震相談会実施回数	回	10 (R6)	14	14	14	14 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	16,124	14,140	14,140	14,140	42,420
一般財源	5,353	5,353	5,353	5,353	16,059
特定財源	10,771	8,787	8,787	8,787	26,361

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	市営住宅維持管理事業	NO.	95
担当所属	都市整備課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	5. 住宅	会計区分	一般会計
	方向性	(3) 住宅セーフティネットの形成	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	適正に維持管理を行い、市営住宅の既存ストックを活用し、住宅困窮者に対して低家賃で住居を提供します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市が管理する市営住宅の住環境の整備のため
対象 (誰・何を対象として)	市営住宅
手段 (どのようなやり方で)	袖ヶ浦市営住宅長寿命化計画に基づき、定期的な見直しを行いながら、維持管理を適切に行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市営住宅が抱える問題点を的確に把握し、市営住宅ストックの活用ができる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	市営住宅の適正な維持管理 市営住宅の一部用途廃止	市営住宅の適正な維持管理 市営住宅の集約検討	市営住宅の適正な維持管理 市営住宅の集約検討

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 入居率（神納谷団地を除く）	%	76.3 (R6)	81.0	81.0	81.0	81.0 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① アンケートや聞き取りによる満足度調査実施回数	回	0 (R6)	1	1	1	1 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度 合計
事業費	2,417	1,462	1,462	1,462	4,386
一般財源	0	0	0	0	0
特定財源	2,417	1,462	1,462	1,462	4,386

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	地域公共交通づくり事業	NO.	96
担当所属	都市計画課	関連所属	政策秘書課

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	6. 公共交通	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 拠点間及び地域間を移動しやすい公共交通ネットワークの形成	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	地域住民の交通利便性を確保するため、既存バス路線の運行を維持するとともに、利便性向上を図ります。また、事業者と協力し、地域内の新たな移動手段を確保するための取組を行います。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	地域住民の交通利便性を確保するため、現行の路線バスの維持を図る。 様々な事業者と協力し、既存の路線バスでは満たせないニーズを満たすため、デマンド交通の本格運行を行う。
対象 (誰・何を対象として)	バス運行会社及び事業主体 (効果の対象は市民)
手段 (どのようなやり方で)	地域住民の交通利便性を確保するため、既存バス路線の運行を維持するための補助金交付等を行う。 日常生活の移動手段を確保するため、デマンド交通の本格運行を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	路線バスについては、利用促進のPRを行い、利用者数の増加を図るとともに、利用者ニーズに応じた運行形態となるように路線の見直しを行う。 また、新たな移動手段の導入など、公共交通ネットワークの再構築を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	バス路線維持に関する補助金交付 利用促進のPR 事業者との協議 バス路線再編の検討 地域公共交通計画策定調査業務 デマンド交通の本格運行(長浦地区)・実証運行(昭和、根形、平岡、中川・富岡地区) 自動運転バス(レベル2)の運行	バス路線維持に関する補助金交付 利用促進のPR 事業者との協議 バス路線再編の検討 地域公共交通計画作成業務 デマンド交通の本格運行 自動運転バス(レベル4)の運行	バス路線維持に関する補助金交付 利用促進のPR 事業者との協議 バス路線再編の検討 デマンド交通の本格運行 自動運転バス(レベル4)の運行

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 路線バス利用者数(補助対象路線)	人	221,000(R6)	229,000	237,000	245,000	245,000(R10)
	② デマンド交通利用件数	件	9,425(R6)	18,000	19,000	20,000	20,000(R10)
	③						
活動指標	① 路線バス利用促進周知	回	4(R6)	4	4	4	4(R10)
	② デマンド交通利用促進周知	回	4(R6)	4	4	4	4(R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	105,987	283,861	267,745	169,960	721,566
一般財源	105,987	162,806	157,745	159,960	480,511
特定財源	0	121,055	110,000	10,000	241,055

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	高速バス利便性向上事業	NO.	97
担当所属	都市計画課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4. 都市形成・都市基盤	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	6. 公共交通	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 広域アクセスの利便性向上	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	バス事業者に袖ヶ浦バスターミナルへの路線の乗入や乗降の自由化などについて、継続的に要望活動を行い、高速バスの競争力強化に向けた更なる利便性向上を図ります。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	高速バスの利便性向上を図る。
対象 (誰・何を対象として)	バス運行会社 (効果の対象は市民、来訪者等)
手段 (どのようなやり方で)	関係機関(バス運行会社、関係自治体)に協議・要望を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	高速バスの利便性向上を図り、より多くの人に利用してもらう。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	利用促進のPR バス事業者への要望・協議 関係自治体との協議	利用促進のPR バス事業者への要望・協議 関係自治体との協議	利用促進のPR バス事業者への要望・協議 関係自治体との協議

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 袖ヶ浦バスターミナルにおける高速バス利用者数	人	974,736 (R6)	1,023,500	1,074,600	1,117,000	1,117,000 (R10)
	② 袖ヶ浦バスターミナルにおける自由乗降路線数	路線	1 (R6)	1	1	2	2 (R10)
	③						
活動指標	① 利用促進周知	回	3 (R6)	3	3	3	3 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	4	4	4	4	12
一般財源	4	4	4	4	12
特定財源	0	0	0	0	0